



こあら通信

2023年 10月 202号

小栗小児科医院
〒933-0014 富山県高岡市野村869
TEL: 0766-23-2229
URL: <https://oguri-shounika.com>

院長の小栗真人です。4月から中断していたこあら通信を10月号から再開します。
2006年から継続して取り組んできた院内報が今年の3月号で200号となりました。

1) 今年度のインフルエンザ感染症(Flu)、ワクチンについて (雑感☆)

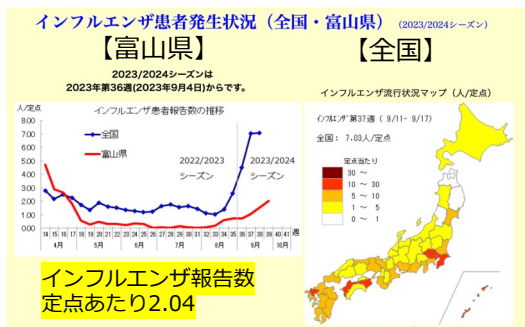
富山県のFluは2022年11月から流行シーズンに入り2023年5月に収束、2023年9月から再度流行がはじまっています。

流行に先んじて、先日早速Flu A型にかかってしまいました。

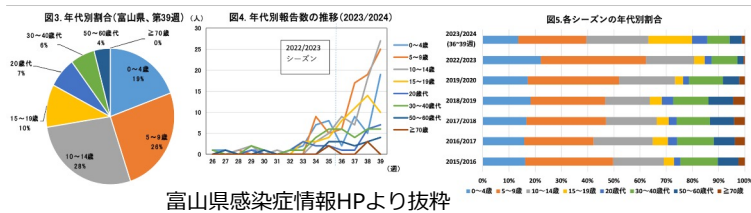
発熱、悪寒、倦怠感、関節痛、咽頭痛が主症状で咽頭痛は4-5日間続きました。皆様もお気をつけください。

もし、お子様がFluに罹患されたとしても、インフルエンザワクチン接種を勧めていきましょう。
マスク、手洗い、うがい、距離確保、加湿の感染対策しつつ接種をお勧めください。

2) 2022/2023シーズン、2023/2024シーズンのインフルエンザ流行状況

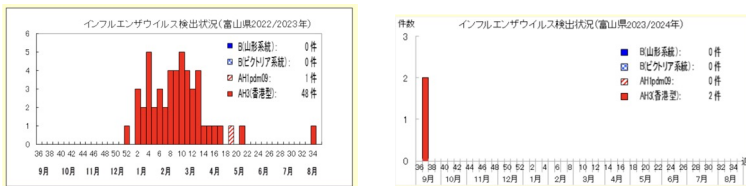


- 全国的には2023年5月以降もFluは収束しておらず沖縄や都市部、九州で散発的な流行の報告がされていました。35週から本格的に全国レベルで再流行が始まり、第39週の時点では沖縄、関東、四国、九州では注意レベルに流行しています。
- 富山県でも全国に3-4週ほど遅れてFlu A型が流行しはじめました。
- 学級閉鎖の報告も数校あり今後増えていくのか注意が必要です。(小学校2校、中学校1校)



- 15歳未満の小児が73%であり、先週と比較して小児患者の全体割合が増加しました。
- 15-19歳の年代の割合が以前のシーズンより高い

3) インフルエンザウイルス流行株



- 2022/2023年富山県内の流行株は、(ほぼ)インフルエンザAH3(香港型)です。
- 2023/2024年シーズン初期(9月)も引き続きインフルエンザAH3(香港型)です。

4) 今シーズンのワクチン株について

今シーズンのインフルエンザワクチンは(A型 AH1 pdm09/AH3 ダーウィン型、B型 山形/ビクトリア系統)が選定されました。AH3ワクチン型HA抗原は多くの流行ウイルス株と良好な反応性を示しています。冬季の流行ウイルス型の置き換わりも予想されるためしっかりワクチンを打っていきましょう。

5) インフルエンザワクチン有効率、副反応について

インフルエンザワクチンの効果期間は4-5ヶ月間、有効率は6-7割になります。

ワクチン接種をしない場合と比べて発病リスクを2/3程度減少させます。

2歳までの乳幼児はややワクチンの効果が低いという臨床データ¹⁾も一部でありますが重症化しやすいのは乳幼児や高齢者です。接種を勧めましょう²⁾。

接種副反応は発熱、下痢、接種部腫脹や鼻咽喉炎の頻度が高い(5%↑)となります³⁾。

- Efficacy of trivalent influenza vaccine against laboratory-confirmed influenza among young children in a randomized trial in Bangladesh Vaccine 2017 Dec15;35(50):6967-6976
- Recommendation for Prevention and Control of Influenza in Children, 2021-2022. Pediatrics 2021 Sep 7
- インフルエンザワクチン「生研」添付文書